



2022年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月2日

上場会社名 AGC株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5201 URL https://www.agc.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 平井 良典
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 小川 知香子 TEL 03-3218-5603
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け説明会）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,498,850	21.5	152,094	2.5	165,227	△10.7	129,117	△16.0	98,754	△23.7	321,984	38.1
2021年12月期第3四半期	1,233,505	21.8	148,350	265.5	185,090	611.5	153,748	837.2	129,445	858.3	233,095	-

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	445.56	444.28
2021年12月期第3四半期	584.49	582.32

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	3,016,217	1,740,034	1,527,107	50.6
2021年12月期	2,666,031	1,481,380	1,314,161	49.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	-	80.00	-	130.00	210.00
2022年12月期	-	105.00	-		
2022年12月期（予想）				105.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に 帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	20.8	190,000	△7.8	177,000	△15.7	128,000	△19.5	92,000	△25.7	415.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）AGC Vinythai Public Company Limited
除外 1社 （社名）Vinythai Public Company Limited

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は8ページ「1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年12月期3Q	227,441,381株	2021年12月期	227,441,381株
2022年12月期3Q	5,408,079株	2021年12月期	5,517,627株
2022年12月期3Q	221,640,317株	2021年12月期3Q	221,466,855株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみ全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、補足説明資料（2022年12月期第3四半期業績説明会資料）を作成しており、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	2
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	3
(要約四半期連結純損益計算書)	3
(要約四半期連結包括利益計算書)	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	5
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報)	9
(その他収益及びその他費用)	10
(重要な後発事象)	10

1. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	195,830	264,076
営業債権	295,161	328,125
棚卸資産	330,101	450,526
その他の債権	65,472	49,099
未収法人所得税	3,518	3,861
その他の流動資産	25,186	53,762
流動資産合計	915,271	1,149,451
非流動資産		
有形固定資産	1,323,868	1,462,101
のれん	112,916	122,453
無形資産	69,913	78,883
持分法で会計処理されている投資	31,197	24,436
その他の金融資産	116,624	97,776
繰延税金資産	27,611	30,195
その他の非流動資産	68,628	50,919
非流動資産合計	1,750,759	1,866,766
資産合計	2,666,031	3,016,217
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	196,435	222,642
短期有利子負債	36,820	58,620
1年内返済予定の長期有利子負債	88,599	144,027
その他の債務	199,169	206,729
未払法人所得税	42,411	25,021
引当金	1,207	1,726
その他の流動負債	34,764	48,880
流動負債合計	599,408	707,648
非流動負債		
長期有利子負債	477,774	466,301
繰延税金負債	35,814	26,521
退職給付に係る負債	53,805	53,264
引当金	12,064	14,620
その他の非流動負債	5,782	7,826
非流動負債合計	585,241	568,534
負債合計	1,184,650	1,276,183
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	81,621	87,559
利益剰余金	927,830	987,885
自己株式	△26,933	△26,697
その他の資本の構成要素	240,769	387,487
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,314,161	1,527,107
非支配持分	167,219	212,926
資本合計	1,481,380	1,740,034
負債及び資本合計	2,666,031	3,016,217

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結純損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,233,505	1,498,850
売上原価	△859,973	△1,093,791
売上総利益	373,531	405,059
販売費及び一般管理費	△227,151	△254,893
持分法による投資損益	1,970	1,928
営業利益	148,350	152,094
その他収益	49,064	25,560
その他費用	△11,380	△13,928
事業利益	186,034	163,726
金融収益	4,242	7,329
金融費用	△5,185	△5,828
金融収益・費用合計	△943	1,501
税引前四半期利益	185,090	165,227
法人所得税費用	△31,342	△36,110
四半期純利益	153,748	129,117
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	129,445	98,754
非支配持分に帰属する四半期純利益	24,303	30,362
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益 (円)	584.49	445.56
希薄化後1株当たり四半期純利益 (円)	582.32	444.28

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	153,748	129,117
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	15,886	△10,771
その他の包括利益を通じて	11,856	3,072
公正価値で測定する金融資産の純変動		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	16	11
純損益に振り替えられることのない項目合計	27,759	△7,687
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	6,455	7,795
在外営業活動体の換算差額	45,137	192,758
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△5	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	51,587	200,553
その他の包括利益(税引後)合計	79,347	192,866
四半期包括利益合計	233,095	321,984
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	203,889	262,181
非支配持分に帰属する四半期包括利益	29,206	59,802

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	83,501	818,701	△28,170	△31,203	51,397
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	129,445	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	15,613	11,870
四半期包括利益合計	—	—	129,445	—	15,613	11,870
所有者との取引額等						
配当	—	—	△31,045	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△580	—	—
自己株式の処分	—	—	△516	1,717	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	1,242	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	12,002	—	—	△12,002
株式報酬取引	—	△765	—	—	—	—
その他企業結合等	—	△2,279	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,802	△19,558	1,136	—	△12,002
期末残高	90,873	81,699	928,588	△27,033	△15,589	51,264

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	439	129,602	150,236	1,115,142	127,897	1,243,039
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	129,445	24,303	153,748
その他の包括利益	6,238	40,722	74,444	74,444	4,902	79,347
四半期包括利益合計	6,238	40,722	74,444	203,889	29,206	233,095
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△31,045	△3,807	△34,852
自己株式の取得	—	—	—	△580	—	△580
自己株式の処分	—	—	—	1,201	—	1,201
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	1,242	△1,012	230
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△12,002	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△765	—	△765
その他企業結合等	—	—	—	△2,279	—	△2,279
所有者との取引額等合計	—	—	△12,002	△32,227	△4,820	△37,047
期末残高	6,677	170,324	212,678	1,286,805	152,283	1,439,088

当第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	81,621	927,830	△26,933	△6,927	43,896
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	98,754	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△11,049	3,089
四半期包括利益合計	—	—	98,754	—	△11,049	3,089
所有者との取引額等						
配当	—	—	△52,162	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△338	—	—
自己株式の処分	—	—	△181	574	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	7,702	—	—	96	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	13,644	—	—	△13,644
株式報酬取引	—	△34	—	—	—	—
その他企業結合等	—	△1,730	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	5,937	△38,699	235	96	△13,644
期末残高	90,873	87,559	987,885	△26,697	△17,879	33,342

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	4,952	198,847	240,769	1,314,161	167,219	1,481,380
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	98,754	30,362	129,117
その他の包括利益	7,373	164,012	163,426	163,426	29,439	192,866
四半期包括利益合計	7,373	164,012	163,426	262,181	59,802	321,984
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△52,162	△12,758	△64,921
自己株式の取得	—	—	—	△338	—	△338
自己株式の処分	—	—	—	393	—	393
支配継続子会社に対する持分変動	—	△3,161	△3,064	4,637	△1,336	3,300
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△13,644	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△34	—	△34
その他企業結合等	—	—	—	△1,730	—	△1,730
所有者との取引額等合計	—	△3,161	△16,709	△49,235	△14,094	△63,330
期末残高	12,326	359,697	387,487	1,527,107	212,926	1,740,034

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	185,090	165,227
減価償却費及び償却費	121,879	137,530
減損損失	436	521
受取利息及び受取配当金	△3,891	△5,132
支払利息	4,826	5,678
持分法による投資損益	△1,970	△1,928
固定資産除売却損益	2,617	△11,712
営業債権の増減額	△1,567	△4,899
棚卸資産の増減額	△37,803	△84,653
営業債務の増減額	8,760	4,357
その他	△17,860	23,458
小計	260,517	228,448
利息及び配当金の受取額	4,541	5,726
利息の支払額	△4,912	△5,474
法人所得税の支払額又は還付額	△24,714	△70,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,432	158,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△162,788	△151,992
有形固定資産の売却による収入	4,085	17,275
その他の金融資産の取得による支出	△36,701	△14,152
その他の金融資産の売却及び償還による収入	51,271	55,252
関係会社又はその他の事業の売却による収入	49,599	15,548
その他	△812	△1,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,346	△79,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	△74,826	16,564
長期有利子負債の借入及び発行による収入	50,952	67,136
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△67,635	△61,296
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,271	—
非支配持分からの払込みによる収入	—	3,302
自己株式の取得による支出	△580	△338
配当金の支払額	△31,045	△52,162
非支配持分への配当金の支払額	△3,807	△12,922
その他	217	199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,996	△39,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,721	28,857
現金及び現金同等物の増減額	15,811	68,245
現金及び現金同等物の期首残高	236,124	195,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	251,936	264,076

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除いて、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準書をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。以下の基準書の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

基準書	基準名	概要
IAS第16号 (2020年5月改訂)	有形固定資産	有形固定資産一意図した使用の前の収入
IAS第37号 (2020年5月改訂)	引当金、偶発負債及び偶発資産	不利な契約－契約履行コスト
IFRS第3号 (2020年5月改訂)	企業結合	概念フレームワークへの参照

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いた全ての収益・費用が含まれております。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表の作成において、資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を設定しております。そのため、会計上の見積りと実績は異なることがあります。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積り及び仮定は、原則として前連結会計年度と同様であります。

見積り及びその仮定は継続して見直しております。これらの見積り及び仮定の見直しによる影響は、その見積り及び仮定を見直した会計期間及びそれ以降の会計期間において認識しております。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に、「建築ガラス 欧米」「建築ガラス アジア」「オートモーティブ」「電子」「化学品」の5カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。(2021年7月1日付で「ビルディング・産業ガラス」カンパニーを、欧米地域を所管する「建築ガラス 欧米」カンパニー及び日本・アジア地域を所管する「建築ガラス アジア」カンパニーに分割しております)

なお、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」及び「オートモーティブ」につきましては、サプライチェーンの最上流に位置し最大の資産であるフロート板ガラス製造設備(ガラス溶解窯)等を共同で活用しており、カンパニー共用の資産・負債が併存しております。共用の状況は生産や販売の需給変動で左右されます。これらの状況を考慮し、財務諸表については分離することが困難であるため、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」及び「オートモーティブ」にて「ガラス」セグメントとし、財務諸表を作成しております。また、経営資源の配分の決定がそれぞれの業績に密接に影響を与え、業績評価についても不可分の関係にあることから、全体最適生産、シナジー効果の維持等を目的に、各カンパニープレジデント等参加の下で「ガラスセグメント会議」等を設置し、グループ利益の最大化を協働で図っております。これらの状況を踏まえて、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」及び「オートモーティブ」にて「ガラス」セグメントとして報告しております。

したがって、当社グループは、「ガラス」「電子」「化学品」の3つを報告セグメントとしております。

なお、従来「ガラス」及び「電子」に含めていた車載ディスプレイ用カバーガラスについて、会社組織の変更に伴い、当連結会計年度より報告セグメントを「ガラス」に統合しております。前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各報告セグメントに属する主要な製品の種類は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E(低放射)ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス(断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等)、自動車用ガラス、車載ディスプレイ用カバーガラス等
電子	液晶用ガラス基板、有機EL用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、プリント基板材料、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル、塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医農薬中間体・原体、バイオテクノロジー関連製品、ヨウ素製品等

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	542,949	216,802	449,778	23,974	1,233,505	—	1,233,505
セグメント間の売上高	1,706	1,406	983	32,129	36,226	△36,226	—
計	544,656	218,209	450,762	56,103	1,269,732	△36,226	1,233,505
セグメント利益又は損失(営業利益)	25,181	24,530	96,026	2,795	148,534	△183	148,350
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	153,748

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	649,929	224,129	597,645	27,146	1,498,850	—	1,498,850
セグメント間の売上高	766	1,657	1,488	37,691	41,604	△41,604	—
計	650,696	225,787	599,133	64,837	1,540,455	△41,604	1,498,850
セグメント利益又は損失 (営業利益)	13,692	12,292	122,884	3,400	152,269	△174	152,094
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	129,117

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
為替差益	7,127	—
固定資産売却益	1,840	14,728
関係会社株式売却益	1,431	8,556
事業譲渡益	28,010	—
清算決定に伴う在外営業活動体の換算差額の振替益	7,506	—
その他	3,147	2,276
その他収益合計	49,064	25,560

当第3四半期連結累計期間の固定資産売却益には、当社が兵庫県尼崎市に所有する土地の売却益14,263百万円が含まれております。

その他費用

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
為替差損	—	△1,262
固定資産除却損	△4,457	△3,016
減損損失	△436	△521
事業構造改善費用	△2,523	△7,167
その他	△3,962	△1,960
その他費用合計	△11,380	△13,928

事業構造改善費用に含まれている減損損失は、前第3四半期連結累計期間はありません。当第3四半期連結累計期間は908百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。